

教授会議事要録

1. 日 時 平成26年6月5日(木) 13:30~14:05,
15:30~16:00

2. 場 所 大会議室

3. 出席者 所長ほか26名

4. 欠席者 4名

5. 議 事

○ 議事要録の確認

平成26年5月8日(木)開催の専任教授会議事要録(案)及び教授会議事要録(案)について諮り、これを承認した。

○報告事項

(1) 安全衛生管理体制について

議長から資料3により、安全衛生管理体制の変更点について説明があった。

(2) 平成26年度第73回国立大学附置研究所・センター長会議について

議長から資料4により、5月22日、23日に開催された標記会議の概要について説明があった。

(3) 各種委員会報告

①議長から資料5-1により部局長連絡会議(5月20日(火)開催)の概要について報告があった。

②議長から資料5-2により運営会議(6月2日(月)開催)の概要について報告があった。

③将来計画委員会委員長から、呼吸器外科学分野の将来の方向性について検討を行ったと報告があった。

④総務・人事委員会委員長から、新規非常勤講師の審査を行ったと報告があった。

⑤研究推進委員会委員長から、研究助成金の募集要項についてメール審議を行ったと報告があった。

⑥構成員から生命科学研究科教授会(6月4日(水)開催)について報告があった。

⑦構成員から医工学研究科教授会(6月4日(水)開催)について報告があった。

⑧構成員から病院科長会議(5月22日(木)開催)について報告があった。

⑨構成員から東北メディカル・メガバンク機構の活動について報告があった。

⑩構成員から遺伝子実験センターの活動について報告があった。

⑪構成員から、医学系研究科入試委員会について報告があった。

(4) 医学系研究科大学院合同運営委員会等について

構成員から資料6により医学系研究科大学院合同運営委員会等の議事内容について報告があった。

(5) 平成26年度加齢医学研究所研究助成金募集要項について

議長から資料7により平成26年度加齢医学研究所研究助成金募集要項について報告があった。

- (6) スマート・エイジング出前カレッジについて
議長から資料8により本年度のスマート・エイジング出前カレッジについて報告があった。
- (7) 職員の兼業について
議長から資料9により職員の兼業について報告があった。
- (8) その他
- ①今年度の加齢研シンポジウム等について
議長から、加齢研シンポジウム、加齢医学研究拠点シンポジウムの開催について、積極的に検討願うと発言があった。
- ②加齢研園遊会について
議長から本年度の加齢研園遊会については7月17日(木)開催予定であると発言があった。
- ③議長から、次回教授会は7月10日(木)13時30分から開催すると発言があった。

以上

○審議事項

- (1) 呼吸器外科学分野の将来の方向性及び教授選考委員会の設置について
議長から、6月2日(月)開催の運営会議・将来計画委員会での決定を受け、加齢研教員選考内規第2条に基づき「呼吸器外科学分野教授候補者選考委員会」を設置したい旨諮り、これを承認した。
次いで投票により、選考委員長(所長)を除く委員に、教授4名を選出した。
- (2) 教員の人事について
議長から資料10により教員の辞職及び兼務について諮り、これを承認した。
- (3) 加齢研内規等の一部改正について
議長から資料11により加齢研内規等の一部改正の趣旨について説明があった後、この改正案について諮り、原案どおり改正することを承認した。
- (4) フランス・国立応用科学院リヨン校との大学間学术交流協定の更新について
議長から資料12により標記学术交流協定の更新の経緯及び趣旨について説明があった後、協定更新について諮り、これを承認した。
- (5) 平成26年度各種委員会委員の選出について
議長から資料13により追加のものについて諮り、これを承認した
- (6) 平成26年度非常勤講師の委嘱について
議長から資料14により平成26年度非常勤講師の委嘱について諮り、これを承認した。
- (7) 客員研究員の受入について
議長から資料15により客員研究員の受入れについて諮り、これを承認した。
- (8) 大学院学生の研究指導の一部委託について
議長から資料16により、薬学研究科長から依頼があった大学院学生の研究指導の一部委託について諮り、これを承認した。
- (9) その他
- ①集団会でのプレゼンの使用言語について

議長から集団会での発表言語を英語とすること、ただし、議論は日本語を交えることを可とすることについて同窓会総会へ提案することについて諮り、これを承認した。

なお、本件については、同窓会幹事会了承済みであり、また、研究員会へ提案済みであると発言があった。

以 上